

狩浜の里から

毎年恒例となった壮年会(五のく七〇歳)

の粗大ゴミ回収が秋祭り前の十月八日に行われ、自分では持ち出すことが困難なお年寄り達の依頼を受けて、各家庭を回り回収しようということが始まった行事で、今年で五回目となりました。その資金は、交流会や地域づくりの費用として使用しています。この年々は奉仕の精神が強く、ボランティア活動になると数多くの方が集まる不思議な地域です。その力を基として、これからの地域づくりに生かしていきたいと考えています。

昔の浜狩



昭和40年頃のちりめん漁の風景

昭和35年頃までは、ほうたれ漁が主で夜は沖(ほうたれ漁)に出、昼は山(まつまいも・栗・梨)で生計を立てていました。が、この頃を境に海は昼間のちりめん漁や真珠漁類などの養殖漁業に、山は柑橘栽培へと変わってきました。当時の生活はとても裕福とは言えませんでした。地域のみんはで同じ仕事を行い、どの家の子供も自分の家の子供のように育てられました。義理・人情たっぷりです。とても心豊かな地域です。今もその気持ちは受け継がれています。

祇園丸

だんまり

元網
祇園丸

第54号 平成29年11月17日発行

〒797-0113

愛媛県西予市明浜町狩浜1-217-1

(TEL) 0894-65-0918

0894-89-1683

(FAX) 0894-65-0920

(Email) info@gionmaru.com

http://gionmaru.com

～ある一つの出会い～

秋祭りの朝、神社の境内で朝日に輝やく海を眺めながら一人のカメラマンに「いい写真が撮れましたか？」と声をかけたのがきっかけで、もう22年のつき合いとなりました。その時以来、毎年祭り数日前に来ていただき、祭りの準備や当日の写真も、そして祭りの翌日には早朝から共にちりめん漁に出て、海の写真を撮っていただきました。そのお陰で数多くの人と出会うことができ、たいへん多くの人脈を作ることができました。

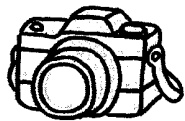
その中でも、10年程前に「祭り普里写真展」と題して地域有志の力を借りて、野外写真展を行いました。

『変わらないものを…つなぎ続ける^{集落}がある

変わらないものを…撮り続ける^{人間}がいる』

そんな写真家、立峰^{あきのり}萌憲氏と祭りが終わって飲む酒が楽しみの一つです。

今では東北の震災以降、災害に遭った時のためにと、今年も3000枚以上の写真を預らせていただき、その写真を自由に使用させていただいています。私共の網元 祇園丸のホームページの写真や家族の写真なども撮っていただき、家族ぐるみのつき合いとなりました。今年度の秋祭りの様子もホームページにアップしておりますので、ぜひご覧下さい。尚、12月にはドローンで撮影したちりめん漁や



近況報告

今年の秋祭りにもまた祭りを盛り上げるためにマジシャンの「ブラック嶋田^く」に来ていただきました。今年で4回目になります。2年前に「綾小路きみまろさん」が取材に来られたのですが、ブラックさんとは30年来の大親友だったそうです。びっくり！驚きでした！

海から

今年の漁は集中型で全くとれはいとまはとれず、10月中旬頃からとれ始め、少しずつですが、毎日水揚げされています。今はお歳暮用のちりめんの選別や袋詰め作業に追われています。🍡🍡🍡🍡🍡🍡🍡

今回のおすすめ料理

—ちりめんじゃこの砂糖しょうゆがけ— (1人分)

(材料) ちりめんじゃこ 20g, ①(砂糖 小1, しょうゆ 小1/2, 酒 小1) ごま適量

(作り方) ①を器に入れて混ぜ合わせ、その中にちりめんじゃこを入れてまぶす。熱々ご飯の上に乗せてごまをふる。

超簡単なので忙しい時にぴったり！ぜひお試しあれ！調味料はお好みにより加減してみてください。

狩浜の景色もアップする計画でおりますので楽しみにして下さい。